



しあわせのまち若葉



第28号

令和6年3月発行

【編集】

若葉区支え合いのまち推進協議会事務局

若葉区貝塚2-19-1

(若葉保健福祉センター内)

TEL 043-233-8558

FAX 043-233-8251

若葉区支え合いのまち推進計画(第5期区地域福祉計画)では、当初令和4~8年度の取り組みとしていましたが、新型コロナウイルス制限され、令和5年度中に中間見直し再スタート『Restart』することとなりました。本計画では若葉区の目指すべき将来像である基本目標とその方向性を示す5つの基本方針を設定しています。

Restart!



若葉区には他の区にはない取り組みがあるって聞いたけど...

若葉区では、独自に[若葉区全体の統一した試み]として、各社会福祉協議会地区部会エリアにおける重点取り組み項目以外でも3つの共通の取り組みを進めていきます。



基本目標

「だれもがいきいきと暮らせる しあわせのまち 若葉区」

～あなたとわたしでつくる 支え合う地域福祉の実現をめざして～

基本方針(5つの仕組み)

●仕組み1

だれもが顔見知り、交流とふれあいの仕組みづくり
まずはあいさつから。
だれもが気軽にふれあい・交流できるよう、希薄な近隣関係を改善します。

●仕組み2

あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの
仕組みづくり

支援の必要な人が気兼ねなく支援を受けられるよう、地域の幅広い人材を活用し、地域ぐるみで助け合い、支え合います。

●仕組み3

備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みづくり

だれもが心穏やかに地域で暮らしていけるよう、安全・安心のまちを目指し、区民の力を結集します。

●仕組み4

必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みづくり

住民の悩みが解消できるよう、必要とする情報が入手でき、いつでも気軽に相談が受けられる仕組みをつくります。

●仕組み5

世代を超えて、ともに福祉に参加できる仕組みづくり

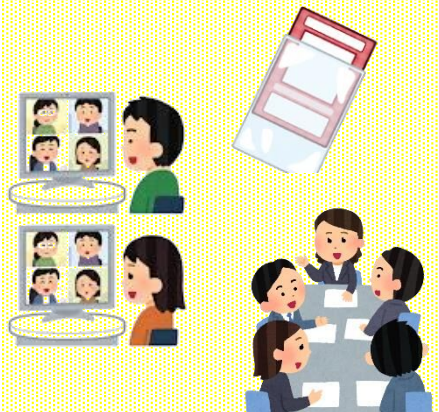
だれもが福祉の心を育み、福祉活動を実践する人材を育てるまちをつくり、地域の福祉力を高めます。

若葉区の全体の統一した試み 若葉区共通

●安心カード配布と
緊急通報システムの利用促進
「共助」 + 「公助」

●オンライン会議の普及・啓発
「共助」 + 「自助」

●各地区部会エリアの連携
(好事例等の情報交換)
「共助」 + 「自助」



取組内容一覧

第5期計画では、若葉区の統一した取組みを推進するため、取組みの方向性を指標と定め、各千葉市社会福祉協議会地区部会エリアにおいて「具体的な取組み」「重点取組項目」の選定を進めてきました。

- ①人のつながり、地域のつながりを重視した事業展開
- ②地域活動が見える方法の強化
- ③地域資源の発掘と展開



3つの“指標”を意識して、具体的な取組みを推進します。

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目(活動事例)
仕組み1	(1)様々な交流活動による地域のつながり・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい機会づくり ・各種サロン、健康体操、こどもカフェなどを実施する など
		②健康や体力維持、介護を通じた関係づくり ・ラジオ体操の実施場所の拡大 ・介護、健康等をテーマとした研修会等の開催 など
	(2)エリア、世代やハンデを越えた交流と地域の様々な団体と連携・協働する	③高齢者、障害者などの枠を超えた全世代型の交流機会の創出 ・障害者施設や高齢者施設の施設主催イベント参加など交流の機会をつくる など
		④福祉施設や福祉活動団体、大学、NPO 等との連携・協働 ・福祉施設や小中学校、大学、ボランティア団体と共催の催しを開催する など
仕組み2	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘 ・区ボランティアセンターを活用し、ボランティアの育成や発掘に務める など
	(4)地域で支え合う仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり ・ひとり暮らしの方や要支援者への見守り活動、安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の普及を促進する など
		⑦活動団体同士の連携・交流 ・町内自治会、民生委員、あんしんケアセンター、障害者基幹相談センター、学校、社会福祉事業者等、地域の多様な団体、組織との情報共有、意見交換やケア会議等を定期的に行う など
仕組み3	(5)継続的な防犯活動を推進し普及する	⑧防犯活動の実施・普及 ・防犯パトロールの実施や防犯マップの作成・活用を行う など
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり ・地域で、防災訓練・救命講習等を定期的に実施する など
仕組み4	(7)地域福祉情報の発信や情報共有をする	⑩地域福祉に関する情報の発信・相談体制づくり ・広報誌の発行を通じ地域福祉に関する情報を地域住民に発信する など
		⑪オンライン活用による情報交流 ・今後、新興感染症等が拡大したとしても地域のつながりを絶やさず、つながり続けるためにオンライン等の活用を検討する など
仕組み5	(8)学びの場をつくり、福祉の知識を深め合う	⑫福祉のこころを育む活動の実施 ・地域と学校が連携して、地域活動に児童が・生徒がボランティアとして参加できる機会をつくる など
	(9)福祉の学びを実践し福祉の人材を育成する	⑬福祉を学び、学習や活動を通じての人材の育成 ・障害の知識を深めるための講座を開催したり、啓発活動を行う など



各地区部会エリアの「重点取組項目」は
こちら

二次元コードで、検索すると、各地区部会エリアの重点取組が見ることができます。
ぜひチャレンジしてみてください。 ※オンラインの活用を推進しています！

- ①二次元コードを読み込むには、専用のアプリが必要です。もし、二次元コード読取りアプリがなければ、iPhone は「App Store」から、Android は「Google play」からインストールしてください。
- ②インストールができれば、起動してみてください。起動すると、カメラの撮影モードや二次元コードの読み込みといった名前のメニューがあると思いますので、そちらをタップしてください。
- ③撮影画面内に大きな四角の枠が表示されますので、その枠内に収まるように二次元コードを映してください。
- ④「URL をブラウザで開く」をタップしてください。 各地区部会エリアの重点取組をご覧ください。